

大津保育園分園がオープン

大津保育園分園開所・入園式

10月1日、大津保育園分園開所・入園式が町人権啓発福祉センターで行われました。大津保育園分園は緊急保育所待機児童対策として開設されたもので、開所・入園式には9人の園児とその保護者、来賓、関係者などが出席しました。大津保育園分園は定員20人で、1～2歳児を対象としています。



皆さん、ご入園おめでとうございます

秋空の下で朝市・えほんマルシェを開催

肥後おおづ朝市・えほんマルシェ

9月21日、肥後おおづ朝市が大津中央公園で開催され、朝早くから大津産の野菜や特産品などを売る店が並び、無料のゆで栗の振る舞いなどもありました。また、当日はえほんマルシェも開催され、たくさんの人でにぎわいました。集まった子どもたちは、絵本や紙芝居など、青空の下で自分の好きなお話を楽しんでいました。



肥後おおづ朝市は、11月16日(日)にも町中央公民館東側駐車場で開催される予定です

教育委員会委員長・委員長職務代理者が決まりました

大津町教育委員会

9月22日の町議会本会議で、合志文夫さん(中島)が教育委員に再任されました。

また、10月1日に開催された教育委員会会議で、合志文夫さんが教育委員長に、首藤誠治さん(大津)が委員長職務代理者に決定しました。



教育委員に再任された合志文夫さん

いっしょにつくってあそぼう!

陣内幼稚園祖父母参観

10月17日、陣内幼稚園の祖父母参観が行われました。今回は大津中学校の隔倉雄一校長を講師に、年長クラスの子どもたち36人とその祖父母や保護者が、空気砲を使った実験やブーメランづくりなどを体験しました。空気砲を使った実験では、煙が段ボール箱から飛び出すたびに、子どもだけではなく大人からも歓声が上がっていました。



他にも楽しい実験や工作がたくさんありました。こういった経験をきっかけに、理科が大好きな子どもたちが増えると良いですね

「実践研究科」はじめました!

大津まちおこし大学実践研究科開講式

今年度からの新たな取り組み、まちおこし大学「実践研究科」の開講式が10月21日、町交流会館で開催されました。家入町長の「まちおこし大学でしっかり学び、地域のリーダーとしてまちづくりに協力いただく」といった、皆さんの「知恵」と「汗」に期待している」という挨拶の後、受講生一人ひとりが自己紹介をし、続けて基礎講座「大津町を知る」が行われました。今後は、18人の受講生が1年間学び、来年9月に事業計画を発表する予定です。



まちおこし大学「学長」、家入町長の言葉に聞き入る参加者

大津町の身体障害者福祉に貢献

平成26年度社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会表彰

9月30日、平成26年度社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会表彰が市民会館崇城大学ホールで行われ、大津町身体障害者福祉会の西本松男さん(森)と岩村美智子さん(大津)が表彰を受けました。西本さんは同会の副会長を平成8年から平成17年まで10年間務め、大津町身障協会会員のお世話をしたこと、岩村さんは長年同会の理事として貢献したことが認められての受賞となりました。



岩村さん(左)と西本さん(右)。それぞれ「こんな賞をもらえて光栄です。すごびっくりしました。これからもできる限り協力したいです」「嬉しいですしと感想を述べました

冬の田んぼで天然地下水を育みます!

大津町における冬期湛水事業が拡大

くまもと地下水財団は、環境保全型農業の促進と豊かな地下水を育むことを目的として、昨年から冬期湛水事業*を実施しています。今年は面積を倍以上に広げて実施する予定です。事業に参加している農家の皆さんからは、冬期湛水による雑草の抑制などを感嘆する声がかれ、営農上のメリットと環境保全の両立が期待されています。



*農家で構成された協議会とくまもと地下水財団が協定を結び、稲刈後の田んぼに4カ月間、水を張る事業です(上写真：湛水予定地)。

少林寺拳法の普及などに貢献

平成26年度熊本県体育協会表彰 スポーツ功労者

9月20日、平成26年度熊本県体育協会表彰が山鹿市で行われ、熊本県少林寺拳法理事長の山本重光さん(大津)がスポーツ功労者として表彰されました。これは、長年熊本県少林寺拳法連盟の役員として活動し、連盟の安定運営に貢献したことや、青少年の健全育成や競技の普及に対する貢献などが認められたことによるものです。



熊本県体育協会表彰は、熊本県のスポーツ振興のために献身的に努力した団体や個人を表彰するものです